

# やまぐち市議会だより

Yamaguchi City Assembly News

2008年5月1日●発行／山口市議会 〒753-8650 山口市亀山町2番1号 TEL.083-934-2854

平成20年  
3月 定例会  
[第7号]

## 主な内容

- 3月定例会の概要 …………… 2
- 委員会活動報告 …………… 4
- 一般質問・質疑 …………… 6
- 会派等活動報告 …………… 10
- 市議会からのお知らせ …………… 12
- 議会Q & A …………… 12
- 編集後記 …………… 12



### いづづり 居蔵造の「旧中川家住宅」が開館

阿知須地域の居蔵造のシンボル、旧中川家の改修が終わり、4月1日から公開を始めました。

中川家は江戸時代から明治時代にかけて瀬戸内の塩を筑後米と交換し、大阪で販売、利益をあげて、阿知須浦廻船業の中心となりました。居蔵造は大火事から家屋を守るために外壁を白壁となまこ壁で固めた土蔵のようにし、瓦葺の屋根になっているのが特徴です。

4年前に中川家から旧阿知須町に寄贈され、国から「まちづくり交付金」を受け総事業費約9,700万円で改修しました。

郷土の歴史・文化資源を活用した幅広い交流施設として、利用が期待されます。

館内には廻船業と居蔵に関する民俗資料、昔の生活用具などが展示されており、敷地面積は約1,141㎡、延べ床面積約226㎡。開館時間は午前10時から午後4時までで、休館日は、水・木曜日、祝日の翌日、年末年始。入場無料。

市議会では平成20年度予算として旧中川家住宅管理運営費を可決いたしました。

# 平成20年度の予算決定

一般会計当初予算額  
特別会計予算総額

658億3,000万円  
448億9,460万1千円

## 3月定例会の概要

平成20年第1回山口市議会定例会は、2月25日に招集され、3月18日までの23日間の会期で開催しました。

### 66議案が上程

初日には、市長から市政概況報告、予算編成方針、議案の説明が行われました。議案については、平成20年度山口市一般会計の当初予算額を658億3千万円、特別会計予算総額を448億9460万1千円とする予算関係26件、山口市教育委員会委員の定数を定める条例等条例関係20件、指定管理者の指定等事件議決12件及び諮問8件の合計66件の議案が上程されました。

### 一般質問に22人が登壇

3月3日から6日までの4日間で行われた一般質問には、各党派等から22人の議員が登壇しました。質疑については6ページをご覧ください。

### 全議案を可決

最終日には追加議案を含む市長から提出された議案及び「最低賃金制度改正の意見書提出を求める請願」と委員会提出議案である「山口市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例」及び「畜産・酪農対策に関する意見書の提出について」の議案について採決を行い、別表(3ページ)のとおり審議結果となりました。なお、討論には、日本共産党、新世紀クラブ、至誠クラブ、公明党(発言順)の4党派が参加し、各議案について賛否の態度を表明しました。



3月定例会本会議の様子

### 渡辺市長の市政概況報告



渡辺 純忠 市長

### 山口市民間化推進実行計画

本実行計画は、民間化を推進・検討する業務について、5力年にわたり計画的に民間化に取り組むための具体的内容を示したもので、3月末を目途に策定することとしている。

計画個々の項目については、計画の有効性を維持するため、適切な進捗管理と毎年度の見直しを行うこととしており、今後、積極的に民間化の推進に取り組む。阿東町からの合併協議申入れの対応

地域懇談会や移動市長室、まちづくり審議会等でご意見をいただき、協議を行うことについては、概ね大きな異論はなかったと感じている。本会議において議論をしていただき、その意向を踏まえ、3月末まで

に最終的な判断をする。第13回中原中也賞及び贈呈式

受賞作品は、215点の作品の中から、神戸市出身の最果タヒさんの詩集「グッドモーニング」に決定し、4月29日に贈呈式を行う。



中原中也賞を受賞した表紙「グッドモーニング」

今後、本市の文化資源を活用した魅力あるまちづくりをさらに進めたい。

公立大学法人山口県立大学と本市との包括的連携・協力に関する協定

県立大学と本市が包括的な連携のもと、人的・知的資源の交流及び活用を図り、相互に協力して地域と大学の活性化に寄与することを目的とし、2月19日に協定を締結した。まずは、中山間地域づくりにおける地域資源の利活用に関する調査や東アジア地域を見据えた観光・交流の推進等において、連携・協力を図ることとしている。

### 公立大学法人山口県立大学・山舌的連携・協定の協定



調印式で握手を交わす江里県立大学理事長(右)と渡辺市長(左)

今後、同様に協定を締結している山口大学とあわせて、まちの価値を高めていくよう、様々な分野における連携を深めたい。

### 消防の広域化

平成18年6月の消防組織法の一部改正に伴い、国の基本指針では、1つの消防本部が管轄する人口規模を30万人以上とすることが適当とされている。県においては、本年度中に消防広域化推進計画を策定し、その後5年程度で消防の広域化の実現を目指しており、市町合併推進構想、地理的条件や生活圏のつながりに配慮した組み合わせについて、各市町との意見調整を図っている。今後、本市としても県の策定状況を見ながら、県及び各市町との意見調整を図っていく。

議案番号	議案の審議結果 (3月定例会) 付託先略称 総：総務委員会 教：教育民生委員会 環：環境上下水道委員会 経：経済建設委員会 一：委員会付託を省略し本会議で表決	付託先	○賛成 ×反対 △一部賛成 会派等名 (人数) ※議長は除く								議決結果	
			新世紀クラブ (13)	県都クラブ (6)	山口未来クラブ (4)	日本共産党 (3)	公明党 (3)	市民クラブ (2)	山本会 (1)	至誠クラブ (1)		
1	平成20年度山口市一般会計予算	総教環経	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
2	平成20年度山口市国民健康保険特別会計予算	教	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
3	平成20年度山口市後期高齢者医療特別会計予算	教	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
4	平成20年度山口市老人保健医療特別会計予算	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
5	平成20年度山口市介護保険特別会計予算	教	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
6	平成20年度山口市介護サービス事業特別会計予算	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
7	平成20年度山口市下水道事業特別会計予算	環	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
8	平成20年度山口市土地取得事業特別会計予算	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
9	平成20年度山口市駐車場事業特別会計予算	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
10	平成20年度山口市小郡駅前第三土地区画整理事業特別会計予算	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
11	平成20年度山口市農業集落排水事業特別会計予算	環経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
12	平成20年度山口市漁業集落排水事業特別会計予算	環経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
13	平成20年度山口市地域下水道事業特別会計予算	環	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
14	平成20年度山口市国民宿舎特別会計予算	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
15	平成20年度山口市特別林野特別会計予算	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
16	平成20年度山口市水道事業会計予算	環	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
17	平成19年度山口市一般会計補正予算 (第5号)	総教環経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
18	平成19年度山口市国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
19	平成19年度山口市老人保健医療特別会計補正予算 (第4号)	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
20	平成19年度山口市介護保険特別会計補正予算 (第3号)	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
21	平成19年度山口市下水道事業特別会計補正予算 (第4号)	環	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
22	平成19年度山口市駐車場事業特別会計補正予算 (第2号)	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
23	平成19年度山口市小郡駅前第三土地区画整理事業特別会計補正予算 (第3号)	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
24	平成19年度山口市農業集落排水事業特別会計補正予算 (第3号)	環経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
25	平成19年度山口市国民宿舎特別会計補正予算 (第2号)	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
26	平成19年度山口市水道事業会計補正予算 (第1号)	環	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
27	山口市事務分掌条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
28	山口市職員定数条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
29	山口市職員の修学部分休業に関する条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
30	山口市職員の自己啓発等休業に関する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
31	山口市議会の議員その他非常勤の職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
32	山口市特別職等の給与の特例に関する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
33	山口市特別会計設置条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
34	山口市長期継続契約とする契約を定める条例の一部を改正する条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
35	山口市使用料、手数料徴収条例の一部を改正する条例	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
36	山口市教育委員会の委員の定数を定める条例	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
37	旧中川家住宅設置及び管理条例	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
38	山口市養護老人ホーム福寿園設置及び管理条例を廃止する条例	教	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
39	山口市国民健康保険条例の一部を改正する条例	教	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
40	山口市介護保険条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
41	山口市後期高齢者医療に関する条例	教	○	○	○	×	○	○	○	○	○	可決
42	山口市企業立地促進条例の一部を改正する条例	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
43	道の駅あいお設置及び管理条例の一部を改正する条例	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
44	道の駅「きらら あじす」設置及び管理条例の一部を改正する条例	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
45	山口市営特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
46	山口市企業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部を改正する条例	環	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
47	山口市過疎地域自立促進計画の変更について	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
48	市道路線の廃止について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
49	市道路線の認定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
50	はちのご第2学級の指定管理者の指定について	教	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
51	国民宿舎秋穂荘の指定管理者の指定について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
52	平成19年度高田橋改築工事委託に関する協定の一部を変更することについて	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
53	山口市公共下水道山口浄水センターの建設工事(増設)委託に関する協定の一部を変更することについて	環	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
54	山口市特定環境保全公共下水道川西浄水センターの建設工事委託に関する協定の一部を変更することについて	環	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
55-56	損害賠償の額を定め和解することについて	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
57	損害賠償請求に関する民事調停案を受諾することに関する専決処分について	総	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
58	平成19年度高田橋改築工事委託に関する協定の締結に関する専決処分について	経	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
59	教育委員会の委員の任命について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
(諮問)												
1~8	人権擁護委員の候補者の推薦について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	異議なし
(請願)												
1	最低賃金制度改正の意見書提出を求める請願	経	×	×	△	○	×	○	○	×	×	不採択
(委員会提出議案)												
1	山口市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
2	畜産・酪農対策に関する意見書の提出について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
3	山口市議会委員会条例の一部を改正する条例	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

# 委員会活動報告

## 総務委員会

藏成 幹也(委員長)  
原 ひろ子(副委員長)  
武田 寿生・野村 幹男  
伊藤 青波・杉山 眞士  
重見 秀和・須藤 果一  
藤村 和男

### 総合計画に基づいた 予算審査を実施

議案第一号「平成20年度  
山口市一般会計予算」は、  
本市の長期的なまちづくり  
の方向性を示す「山口市総  
合計画」の計画初年度の予  
算です。

このたびの予算編成にお  
いては、これまで行われて  
きた部局ごとの予算枠配分  
方式から、総合計画の34の  
施策ごとに予算配分を行う  
施策別包括的予算制度が導  
入され、施策の優先度に応  
じたメリハリのある予算編  
成が行われたところです。  
委員からは、優先度に応  
じて予算配分されたという  
ことだが、具体的にはどの  
ような方法により実施され  
たかとの質問がありました。  
執行部からは、34の施策

ごとに財源投下と成果向上  
の2つの観点から優先度を  
設定し、順位の高い施策に  
最大で2・5%加算して予  
算配分を行ったとの説明が  
ありました。

このほか、予算審査にお  
いては、総合計画に掲げる  
まちづくりの実現の観点か  
ら多くの質問が出され、活  
発な議論が行われたところ  
です。

### 中山間地域づくりについで

中山間地域の有する地域  
資源の有益性や優位性を保  
全・活用し、中山間地域の  
暮らしや営みの再構築を図  
るため「中山間地域づくり  
指針」の策定作業が進めら  
れており、このたび指針の  
骨格が説明されました。

委員からは、中山間地域  
づくりは本市の重要な課題  
であり、地域別の振興に当  
たっては、地域別の特色をし  
っかりと生かしていく必要  
があると考えるがどのよう  
に取り組んでいくのかとの  
質問がありました。

執行部からは、行動計画  
となる「地域資源活用プラン」  
を策定することとして  
おり、地域それぞれの特色  
を生かし、地域の基幹産業  
である農林業を初めとした  
地域経済の活性化を図って  
いくとの説明がありました。

また、委員からは、中山  
間地域づくりは各部横断的  
なプロジェクトであること  
から庁内において連携し推  
進する必要があると考える  
がどのような推進体制とな  
るかとの質問がありました。

執行部からは、都市政策  
を担当する総合政策部を中  
心に、地域コミュニティ  
づくり、交通政策、商業・  
農林業振興、観光振興等を  
推進する各部と連携を図る  
横断的な推進体制を構築し  
ていくとの考え方が示され  
ました。

さらに委員から、中山間  
地域づくりは都市政策の大  
きな柱の一つであるとの重  
要性を踏まえ、推進するた  
めの司令塔となる組織を設  
置するべきとの意見があり  
ました。

なお、総務委員会に付託  
された13件の議案について  
は、議案第一号、27号、28

号、33号は賛成多数で、こ  
れらを除くその他の議案に  
ついては全会一致で可決し  
ました。

## 教育民生委員会

平田 悟(委員長)  
入江 幸江(副委員長)  
田中 勇・依田 祐児  
山根 幹夫・有田 敦  
菊地 隆次・村上 満典

### 消費生活センターの 相談室についで

執行部から、市役所2階  
に設置されている消費生活  
センターの相談室は非常に  
手狭であることから、来年  
度からは専用の相談室を確  
保したいとの説明があり、  
委員からは、具体的にはど  
ういう対応をされるのかの  
質問がありました。

執行部からは、現在は、  
消費生活センター事務所の  
中に相談室を設置している  
が、来年度は事務所を庁内  
の別の場所へ移動し、現在  
の事務所の位置を相談室と  
して確保するとの説明があ  
りました。

### 後期高齢者医療制度について

4月から始まる新たな後  
期高齢者医療制度（75歳以

上の高齢者と、65〜74歳で  
一定の障害のある方が加入  
する制度）を市民に理解し  
てもらうため、市としてど  
のような取り組みをしてい  
るかとの質問がありました。

市の対応としては、市報  
や市のホームページを通じ  
て市民の方々に情報を提供  
するとともに、3月は、被  
保険者証の発送時期にあた  
るため、被保険者の方へは、  
被保険者証と後期高齢者医  
療制度の説明資料をあわせ  
て同封し、通知するとの説  
明がありました。

さらに、対象者が、お年  
寄りの方であるため、実際  
に通知が届いた後の対応も  
必要であり、4月からは窓  
口業務も含めて市民の方に  
よりよい説明ができるよう  
に万全の体制をとるとの考  
えが示されました。

### 成人式の開催等についで

合併後の成人式は、きら  
らドームで開催されている  
ことから、来年度以降の成  
人式の開催場所の方向性  
について質問がありました。

執行部からは、開催場所  
については、きららドーム  
は会場として十分に広く、

準備もしやすいこと、駐車  
場も多く天候の影響も受け  
にくい点など、マイナスイ  
面が特になく、合併によ  
る一体感の醸成という観点  
から、基本的には今後もき  
ららドームで開催する方向  
で考えているが、商工会議  
所等から、商店街にも晴れ  
着を着た若い人が来て欲し  
いなどの要望もあることか  
ら、開催場所については、  
今後も教育委員会で議論し  
ていくことになるとの説明  
がありました。

そのほか、来年度の成人  
式の記念品予算の削減につ  
いて議論され、委員からは  
完全になくすのではなく、  
何か配慮を検討してはど  
うかとの意見がありました。



きららドームでの成人式風景

なお、教育民生委員会に  
付託された17件の議案につ  
いては、議案第一号、2号、

3号、5号、38号、39号、41号は賛成多数で、これを除くその他の議案については全会一致で可決しました。

**環境上下水道委員会**

小林 訓二 (委員長)	原田 清 (副委員長)	藤本 義弘	瀧川 勉	山本 俊昭	原田 欣知	誠二 齋	伊藤 誠
-------------	-------------	-------	------	-------	-------	------	------

### 水道事業における 包括的民間委託について

包括的民間委託とは、複数の業務を一つの企業に委託するものであり、本市の水道事業では検針業務と窓口・料金徴収業務を委託します。

検針業務については、すでに1月からメーター検針のほか宅内漏水確認などの関係調査業務が委託されており、窓口・料金徴収業務については4月から実施されます。

委員からは、業務のチェック体制について質問があり、執行部から、検針業務のチェック体制については、検針の全データをメモリーカードへ入力し、コンピュータ管理するので、検針漏れがあれば確実に分か

るとの説明がありました。また、窓口・料金徴収業務のチェック体制については、領収書へ通し番号を付けることを検討しているとの説明がありました。

### 廃食用油代替燃料について

廃食用油代替燃料とは、使用済みの食用油を回収し、軽油に代わる燃料として精製されたもので、小郡地域では、じん芥収集車の燃料として利用し、地球温暖化防止に取り組んでいます。

委員からは、じん芥収集車以外での利用は考えているのか、との質問があり、執行部からは、現在、最終処分場で稼働しているブルドーザーでも利用しており、あらゆる利用方法を模索していきたいとの説明がありました。

さらに、委員からは、市全体での使用済み食用油の回収を考えているのか、との質問があり、執行部からは、使用済みの食用油が多く出る阿知須学校給食センター、秋穂学校給食センター、県セミナーパーク等についても平成19年度から回収している。

また、無人の回収施設を整備し、効率的に各家庭から出る使用済みの食用油を回収することも考えられるが、火災や油漏れが危惧されるため、条件が整うまでは今のままの形で回収したいとの説明がありました。

### 地域資源化推進事業について

地域資源化推進事業は、自治会、子供会等営利を目的としない団体が回収した資源物を回収する業者に対し、回収量に応じた奨励金を交付していたものであり、平成20年度から廃止となります。

委員からは、廃止の経過及び今後の資源物引き取りについて質問がありました。執行部からは、事業開始当初は売れないものを回収業者に取りに来ていただくということから奨励金を交付していたが、近年資源物が売れる状況になり、また、遠方の回収にも対応できると判断されるため、平成20年度から廃止するものとの説明がありました。

なお、環境上下水道委員会に付託された13件の議案については、すべて全会一

致で可決しました。

**経済建設委員会**

氏永 東光 (委員長)	兼村 幹男 (副委員長)	浅原 利夫	右田 芳雄	新宅儀次郎	須子藤吉朗	竹中 一郎	山田 昌治	河合 喜代
-------------	--------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

### 地産地消の取り組みについて

農業を初めとする産業振興施策に関連し、今後の地産地消への取り組みについて、質問がありました。

執行部からは、市内の農産物生産の情報提供や生産者団体との連携を密にし、商工団体や民間の活動を支援していきたいとの答弁がありました。

また、中心市街地活性化に関係して地産地消を意識した関連事業を展開するなど、今後とも地産地消に取り組んでいきたいとの考えが示されました。

### 中心市街地活性化の 取り組みについて

中心市街地活性化事業の進捗状況と今後の展開について、質問がありました。

進捗状況として、中心市街地の東の核づくりとして位置づけられるアルビ跡地

事業については、地域再生マネージャーによりグラウンドデザインが作成されているところであり、現在、関係諸団体でその内容を協議している段階であるとの説明がありました。

また、アルビ跡地事業の今後の予定として、本年秋には具体的な設計等を行い、平成21年度中には施設を完成させたいと考えているとのことでした。

委員からは、基本計画策定以降、本市の経済的な状況は変わっており、新しい展開を模索してほしいとの要望がありました。

なお、本委員会に付託された24件の議案については、議案第1号は賛成多数で、その他の議案については全会一致で可決しました。

### 請願の審査について

今定例会では、「最低賃金制度改正の意見書提出を求める請願」が提出され、本委員会で審査しました。

紹介議員から、労働者の健康で文化的な最低限度の生活のため、生活保護施策との整合性に配慮するとさ

れた最低賃金法改正の趣旨を汲み、地方から引き上げを求める声を上げる必要があるとの説明がありました。審査では、最低賃金制度と社会保障制度の関わり、また、地方における社会経済情勢を中心として、議論が交わされました。

討論では、現在の厳しい経済情勢の中、さらなる賃金水準の大幅な引き上げは地域産業の振興に多大な影響を及ぼすおそれがあるとの反対意見がある一方、今年は改正最低賃金法による賃金決定が行われる最初の年であり、意見書提出により大幅な引き上げにつながる一助とすべきとの賛成意見がありました。

採決の結果、賛成少数で不採択となりました。

### 畜産・酪農対策に関する 意見書の提出について

この意見書は、極めて厳しい経営環境にある畜産・酪農への対策を関係機関に求めるものであり、提出について審査し、全会一致で可決しました。

# 一般質問・質疑

一般質問・質疑は、議案及び市政全般について市長など執行機関の考え、方針を問いただすものです。

時間は質問、答弁あわせて議員一人あたり60分で、3月定例会では22人の議員が登壇しました。

各議員の質問と市長をはじめとする執行部の答弁の要旨は次のとおりです。

(掲載順序は登壇順です。)

## 平成20年度予算について

新世紀クラブ 浅原 利夫

**問** 財政運営健全化計画の終わる平成22年度以降も持続可能な財政運営を維持していくことができるのか。

**答** 中長期的な視点に立つて、総合計画に掲げる目指す10年後のまちの姿である「ひと、まち、歴史と自然が輝く交流と創造のまち山口」の実現に向けて、行財政改革の取り組みを緩めることなく、合併効果も発揮させながら、持続可能な当該年度の収入で当該年度の支出を賄うことのできる、財政基盤を確立し維持し続けてまいる所存である。

### 阿東町との合併協議

**問** 阿東町からの合併協議申し入れへの回答は。

**答** 合併ありきというわけではないが、合併を山口市も阿東町も相互ににらみながら、合併した場合の課題・問題点について双方とも集まって議論する場が必要である。

### その他の質問

○原油高に対する農業・漁業の地産対策について

## 民間化の推進について

異郷クラブ 有田 敦

### 市立保育園の民営化

**問** 本市が狙う民営化はどのような将来像か。

**答** 本市の市立保育園の民営化に関しては、基本的に現在、市内の社会福祉法人が設置、経営しておられる私立保育園のような民設民営を考えていて、指定管理者の導入は考えていない。

**問** 市立保育園の民営化における受け皿探しはどのように考えているのか。

**答** 現在市内で認可保育園を設置し、運営しておられる社会福祉法人が一番適切であろうと考える。しかしながら、場合によっては対象を広げて考えることが必要になることもある。

### 市立幼稚園の民営化

**問** 公立幼稚園の運営に関して、積極的見直しを行うべきと考えるか。

**答** 保護者や私立幼稚園の関係者、地域の方々ならびに専門家のご意見を伺いながら、総合的な観点から検討してまいりたい。

## 阿東町からの合併協議の申し入れについて

山口県クラブ 重見 秀和

**問** 合併に対し市民の中には期待と不安の声があるとのことだが、その不安・不満を改善するための方策は。また、どのようなスタンスで協議に入ろうとお考えか。

**答** 合併協議に入る場合はこれまで整理した諸課題に対し、市民の皆様の声を勘案し、善処し、現在聞えてくる不安の声を解消することが大切と考える。合併の是非は合併協議の場で判断され、現時点では合併の方法・時期等は二ニュートラルな状態である。

**問** 阿東町との合併は今までの1市4町の合併と違いまだ市民合意もない。不安の解消や、市民合意が得られないこともあることから、合併前提の協議というわけにはいかないのでは。

**答** 合併の是非をすぐ議論するのではない。合併が前提ではないが、合併があるうる可能性を秘めた形で協議の場をセットしていきたい。

## 雇用の安定と確保対策

日本共産党 河合 喜代

**問** 市の臨時職員は平均年収253万円で教育現場は更に少なく他に仕事をしなければ生活維持できない。賃金の引き上げを求める。

**答** 市では5人に1人が非正規職員。この賃金水準が地域のパート労働者の賃金水準、地域企業の経営に影響及ぼすのではとの認識をしているが、経営課題のバランスも考慮して適正な賃金水準を維持している。

**問** 誘致企業が正規で地元住民を雇用する方が優良な企業になり、市にとっても魅力のある町になる。労働者の雇用形態の把握と正規雇用を求める方向転換を。

**答** 正規雇用の増加が個人の所得格差を収縮させると思う。企業誘致の改正は一考を要する。更に検討していく。正規雇用の多い企業誘致、そつした企業であつて欲しいと考える。

### その他の質問

・安心・安全、快適な暮らしを提供する施策  
・地域密着型の公共事業

## 地域経済活性化について

公明党 原 ひろ子

**問** 平成20年度の予算書を見る限り、具体的な中小企業対策が見えてこないが本市の経済の中核を担う中小企業の具体的支援対策は。

**答** 利用しやすい貸付利率の融資制度など、企業の状況に応じた多様な支援施策を運用している。

**問** 公共事業の発注に当たっては地元企業が発注しやすい環境、保護策など考えられないか。

**答** 地元企業への発注率は18年度が90・3%である。地元が発注することで技術力、施工能力を高め競争力のある建設業の構築の支援になればと考えている。

**問** 最低落札価格の引き上げは考えられないか。

**答** 地元企業への経営環境の悪化を危惧している。そこで平成20年4月から低入札価格制度の改正を行う予定である。

・ 中心市街地活性化

○ 財政健全化について

○ 道路特定財源について

## 中山間地域の振興について

市民クラブ 須子藤吉朗

**問** 本市の中山間地域の現状は、総面積730平方キロメートルのうち、中山間地の面積は427平方キロメートルであり、地域の58・5%を占めている。中山間地域の課題については、多岐にわたっており、横断的な取り組みが必要である。中山間地域の振興全般を担当する所管が明確になる担当室の設置などが早急に必要と考える。

**答** 中山間地域の課題は、過疎化や高齢化、地域経済の停滞などを背景として多岐の分野にわたっており、このたびの総合計画においては中山間地域づくりを施策、部局を横断するプロジェクト事業として位置づけ、総合的かつ計画的に推進することとしている。企画から実行まで責任を持って担える体制の必要性を感じていることから、今後組織の再編等につきまして検討していきたいと考えている。

## 自治会組織について

公明党 佐田 誠一

**問** 自治会に予算と権限移譲できることは地域にお願いすることは、市民の地域意識を高め、自治会活動への参加が促せると思う。公園管理や道路管理、あるいは学校警備など、予算と権限を自治会に与えないか。

**答** 自治会は住民にとって一番身近で基礎的な「コミュニティ」活動団体として地域の防犯、防災、環境衛生、美化活動の公共的活動を担っている。より豊かな地域社会を構築するために、自主的、自立的活動ができるよう交付金制度を検討している。見直しに当たっては、事業目的、効果、地域の実情を十分把握し、順次進めてまいる。

**問** 地方分権であり地域でできることは地域にお願いすることは、市民の地域意識を高め、自治会活動への参加が促せると思う。公園管理や道路管理、あるいは学校警備など、予算と権限を自治会に与えないか。

**答** 自治会は住民にとって一番身近で基礎的な「コミュニティ」活動団体として地域の防犯、防災、環境衛生、美化活動の公共的活動を担っている。より豊かな地域社会を構築するために、自主的、自立的活動ができるよう交付金制度を検討している。見直しに当たっては、事業目的、効果、地域の実情を十分把握し、順次進めてまいる。

○ 高齢者や障害者の人権擁護について

・ 成年後見制度

・ 高齢者虐待防止対策

・ 高齢者虐待防止対策

## 有機農業推進計画策定について

新世紀クラブ 兼村 幹男

**問** これから有機農業推進にどのように取り組んでいくのか。計画策定についての推進方策と目標、計画策定のスケジュールについて問う。

**答** 有機農業は、安全・安心を基調とするもので、時代のニーズにこたえたものであり、地産地消や食育、環境保全などにつながる多くの可能性をもち、一方、地域農業のブランド化にもなう農業所得の向上につながるなど、本市の農業を振興する有効な方策の一つであると認識しており、来年度策定予定の仮称「山口市農業振興基本計画」に有機農業を位置づけるとともに、今月策定される「山口県有機農業推進計画」に示される技術体系の確立や指導体制の整備なども参考にしながら、適切な対応について検討する。

**問** 「金持ち」や「物質的な豊かさ」を、勝ち組の象徴のように受けとめる風潮から脱し、日本の伝統文化の粋ともいえる「もったいない」を礎にした精神的な豊かさにこそ価値観を見出すことが「温暖化対策」には何より必要なのでは。

**答** 18才以上の市民、また小・中学生、いずれも最も関心の高い環境問題は地球温暖化である。この関心の高さを一人ひとりの行動につなげることが最も重要で、山口市地球温暖化対策地域推進計画を策定し、推進していく。

○ 中山間地域について

○ 中山間地域について

○ 中山間地域について

○ 中山間地域について

## 地球温暖化対策について

新世紀クラブ 田中 勇

**問** 「金持ち」や「物質的な豊かさ」を、勝ち組の象徴のように受けとめる風潮から脱し、日本の伝統文化の粋ともいえる「もったいない」を礎にした精神的な豊かさにこそ価値観を見出すことが「温暖化対策」には何より必要なのでは。

**答** 18才以上の市民、また小・中学生、いずれも最も関心の高い環境問題は地球温暖化である。この関心の高さを一人ひとりの行動につなげることが最も重要で、山口市地球温暖化対策地域推進計画を策定し、推進していく。

**問** 幹線交通の整備を進めるにあたり、今後どのような事業を展開されるのか。

**答** 都市核間交通の機能強化を図ることは、両都市核が有する都市機能を相互補完し、相乗的な都市発展、経済発展に寄与し、広域県央中核都市の形成にも重要であると認識している。実施施策としてはJR山口線や路線バスの利便性、両都市核における交通結節点機能強化が挙げられるが、施策の具体化に向けては山口市公共交通委員会にて調査研究を深めていただく。

○ 中山間地域について

○ 中山間地域について

○ 中山間地域について

○ 中山間地域について

## 山口・小郡両都市核連携の必要性について

新世紀クラブ 竹中 一郎

**問** 幹線交通の整備を進めるにあたり、今後どのような事業を展開されるのか。

**答** 都市核間交通の機能強化を図ることは、両都市核が有する都市機能を相互補完し、相乗的な都市発展、経済発展に寄与し、広域県央中核都市の形成にも重要であると認識している。実施施策としてはJR山口線や路線バスの利便性、両都市核における交通結節点機能強化が挙げられるが、施策の具体化に向けては山口市公共交通委員会にて調査研究を深めていただく。

**問** 両都市核を結ぶJR山口線と路線バス双方のダイヤを掲載した総合時刻表は好評であったが、今後どのように進化させるのか。

**答** 市内全域を対象とした列車・バスの路線図やダイヤ等を掲載した総合的な時刻表の作成、配布や市のホームページへの掲載など、市民の皆様にはわかりやすい形で、公共交通に関する情報を提供していく。

○ 中山間地域について

○ 中山間地域について

○ 中山間地域について

○ 中山間地域について



エコバッグでえ〜こ

## 中核都市建設について

新世紀クラブ 藤本 義弘

**問** 県中核都市建設のパートナーとして防府市にこだわる理由は何か。

**答** 防府市との合併協議を進めることは困難な状況にあるが、合併の必要性に対する思いは変わらない。

**問** 防府市長のコメントから、いやがる相手にいつまでもまとわりついても良い結果は期待できない。それより宇部市との連携を強化した方が現実的な取り組みと思うが考えを聞きたい。

**答** 宇部市は大変に魅力のある都市であり、山口市にはない海・空の玄関口を持ち、東アジアを見据えた都市化を考えていくとき、空の玄関口として重要な要素である。また、環境問題が重要視される中で国際的な位置、評価は非常に高い。また、公害から立ち直った都市、文化に優れた都市である。山口市が望むいろいろな課題について共有し、お互いに都市連携を深めていく可能性が非常に強いと考えられている。

## 低入札価格調査制度の改正について

新世紀クラブ 伊藤 斉

**問** 低入札価格調査制度を4月から改正すると聞いているが、改正の内容を伺う。

**答** 改正の内容は、適正な見積もりを行うことなく入札金額の下限額で入札を行うことを防止するため、同額入札がふえた要因であった判断基準額を廃止する。また、落札率の底上げを図るために、設計に基づく適正な工事の履行の可否を判定する低入札価格調査を行うかどうかの基準となる調査基準価格を若干引き上げる。さらに最低落札率の底上げを図るため、低入札価格調査における判断基準である数値的判断基準額についても増額の視点で改正して同額入札の解消と落札率の底上げを行う。なお、今回の改正にあわせて工物品質の確保、下請け等の保護、確実な工事履行の確保を目的に、契約及び施工に当たり措置する事項について、規定した低入札調査を経て契約を締結する措置要領を制定する。

## 東アジア姉妹都市締結について

山来クラブ 入江 幸江

**問** 韓国、慶尚南道の庁都昌原市との友好交流に関する経緯。

**答** 昨年5月県知事が慶尚南道庁を訪問された折に昌原市が本市との交流を希望しておられるとの情報から同年10月に副市長を団長に公州市への公式訪問の後、昌原市長を表敬訪問。昌原市長が宇部市を訪問された際に山口市に立ち寄りられ、両市の交流について基本となる話をした。

**問** 今後の交流計画。

**答** 大学のまちづくりに力を入れていく共通点。また文化、教育、スポーツや経済といった分野で相互の交流のきっかけをつくることでの市民交流の機運の高まりが非常に重要と考える。

**問** 総領事館の誘致。

**答** 現状についての情報も把握していく。

**問** 英語圏の国との交流。

**答** 英語圏との姉妹締結についてもいききっかけがあれば話が進むだろうし、きっかけづくりも進めていく。

## 教育問題について

新世紀クラブ 原田 清

### 学校適正規模適正配置

**問** 市立小中学校の適正規模、適正配置、その他学校を適正に配置するために必要な事項について昨年3月、この検討委員会から市教委へ提言書が出された。市教委はその後どのように対処されたか。提言書には過小規模校の通学区域の見直し、また、教育の機会均等や学校間の格差解消の面から適正な規模の確保が望ましいとある。

**答** 教育委員会ではこの提言を踏まえ現在、適正規模、適正配置基本方針を策定中である。策定に当たっては小中学校の現状と今後の生徒数の動向、先進地の取り組み事例等も参考に具体的な方策や実施に向けて検討している。完成予定はこの4～5月になりそう。地域住民のコンセンサスを得ることが重要で、早期解決するよう努力したい。

### その他の質問

○郷土資源に根差した石の野外彫刻

## 中山間地域づくり「指針」について

日本共産党 須藤 泉一

**問** 中山間地域づくりの指針を策定中だが、仁保の開発協議会や市の交通まちづくりの教訓を活かして①住民参加で指針を仕上げる②販路の拡大や価格支援など農業振興を位置づける③人口減少への対応策、また地域版が必要と考えるが市長の見解を問う。

**答** 指針は中山間地域づくりの意義と方向性を示すもので市民の意見を聞く場をもつ。取り組みを促進するため「地域資源活用計画」をつくる予定。職員も地域に出向き協議の場を持つ。

農林業振興は国政によるところが大きい。地域の課題でもあり市の農林業政策との関連で検討する。

人口減少は、地域外や大学など多様な主体と連携を深め地域経済の構築、都市と農村の交流を通じて活性化に取り組んでいく。

地域はそれぞれの顔をもっており、どう区分けするか検討が必要だが、地域版は必要と考える。

## まちづくり方針について

新世紀クラブ 氏永 東光

**問** 都市間競争に負けない基礎自治体の、まちづくりの基軸は、まず産業振興に基づいたところの雇用の場づくり、次に、これを支える人づくり、教育、そして今を支える人のセーフティネットとしての医療と福祉と思うが、考えを問う。また、まちづくり方策として、都市拠点としての都市核、生活拠点としての地域核、生活核が相互に連携したまち、重層的コンパクトシティを実現するとしているが、その核にどのような予算配分を行うのか問う。

**答** 山口市総合計画により地域資源の活用と地域経済の循環を通じ、雇用と賑わいを創出し、拠点相互に連携したコンパクトシティを実現する。予算配分は、施策、事業に優先順位をつけ、めり張りのある投資を自治体経営の視点から適切となるよう努める。

### その他の質問

○水酸化に伴う宅内工事費  
○地域経済



## 平成20年度予算について

公明党 村上 満典

### 消費生活相談への体制整備

**問** 市消費生活センターの専門相談員の増員について、具体的目的と人材確保について問う。

**答** 平成20年度から相談員を1名増員することで、多様化・複雑化する相談内容に対応し、市民生活の一層の安心・安全の確保に向けて相談体制を整備する。相談員は、消費生活相談業務、特に金融業務経験のある方で、より意欲のある人をお願いしたい。

悪質商法の相談は・・・  
**山口市消費生活センター**  
 083-934-7171  
 月～金曜日8:30～17:00  
 (年末年始及び祝日は除く)  
 FAX083-934-2644

### その他の質問

- ・ 学校図書館の整備
- ・ 通級指導教室の充実
- ・ 教育施設等の耐震化
- 防災行政について
- 環境行政について
- 小郡屋内プールについて

## 雨水排水対策について

山口県クラブ 瀧川 勉

**問** 雨水排水対策は、宅地化が進むにつれて大きな問題になっている、農業用水路だったところが、都市下水を伴った雨水排水路になり、調整池の役目をした田畑がなくなり、夕立などでも増水が起きている。雨水排水対策の進捗状況と今後の計画を示して欲しい。

**答** 都市化の進行により宅地化が進み、短時間集中の豪雨で雨水排水路の能力を超えて、道路冠水など浸水被害が生じており、範囲も拡大傾向にある。雨水対策の必要性、重要性が高まってきたと認識している。平成18年度に浸水対策事業を立ち上げ、計画的かつ継続的に取り組んでおり、緊急性、重要性の高い箇所から優先的に整備し、今後計画的な雨水整備を進め浸水地域の解消を図り、安心・安全な暮らしのできるまちづくりに努めていきたい。

## 周辺部と中心部の一体感の醸成

県都クラブ 伊藤 青波

**問** このたびの予算で中心部との一体感を醸成するために周辺部に対してどのような予算措置がなされたか。

**答** 本年度予算においてはそれぞれの地域の交流を支援、促進という観点から、まずは中心市街地活性化事業、そして生涯学習施設建設事業、公民館等の整備事業、中山間地域づくり推進事業や森林セラピー推進事業、秋穂・阿知須間における新規バス路線の開設等を実施することとしている。また、地域「コミュニティー」などを行う地域社会の維持発展のための活動に対する支援として、自治会等支援事業について全市を統一した制度のもとで実施することとしている。

### その他の質問

- 新山口駅ターミナルパーク整備推進事業
- 中心市街地活性化対策事業
- スポーツに親しむひと
- 阿東町からの合併協議申し入れについて

## 大内文化のまちづくり

新世紀クラブ 俵田 祐児

**問** (仮称)文化の薫るまち創造ビジョンの策定方針について。

**答** 本市の豊かな自然、街並み、伝統文化など文化資源を市民と行政が一体となってまちとしての価値を高めていくための大きな要素と捉え、教育、観光産業を初めとしたさまざまな政策分野と連携させ、新たな価値を生み出すための方向性を示すものとしている。

**問** 文化振興ビジョンにおける大内文化まちづくりの位置づけ。

**答** 大内文化は本市を代表する文化であり、総合計画の交流創造プロジェクトにおける新しいビジョンにおいても大きな位置づけをなすものである。

**問** 八坂神社周辺のトイレ設置について。

**答** 大内氏史跡整備事業において土地の購入方針がまとまったことから、教育委員会と連携を図り、館跡整備計画の中でトイレ設置を検討してゆく。

## 「コミュニティタクシー」実証運行の目的

新世紀クラブ 小林 訓一

**問** 市民と行政と事業者による協働のまちづくりを基盤とした住民自治を目的に据え、「コミュニティタクシー」であると考え、見解を尋ねる。

**答** コミタクの実証運行は、地域主体による持続的な運営形態のモデル事業で、全体的な事業展開に向けての基準を定めることを目的とする。その過程で「コミュニティ」交通を育てるという地域の支えが、福祉対策に留まらず、地域活動等にも相乗効果をもたらすことを期待する。そして、地域力の向上が再び「コミュニティ」交通を一層強固にする様な、よりよい循環が真の住民自治を実現するための仕掛けになると確信する。

## 広域県中核都市構想の展望について

日本共産党 菊地 隆次

**問** 今のままでは将来は生き残れない」として打ち出したこの構想は、道州制とやまぐち未来デザイン21の国、県と一体となったまちづくりだが、本市の主体性はどこにあるのか。

**答** 国、県に促されて生きていく、追従していくという形であればいかかかという感じはするが、むしろ本市の主体性を持って推進していきたいという考えだ。

**問** 国民健康保険運営における資格証明書発行の改善

**答** 資格証明書発行の改善

**問** 山口市において1079世帯に達しているが、生存権という立場に立って対応を考えるべきでは。

**答** 最後の手段としてやむを得ず交付しているが、来年度からは、福祉医療の受給者は対象からの除外を検討。また、病気を患って納付に困っている方には、救済の体制を整備したい。

### その他の質問

- ・ 山口市土地開発公社経営健全化計画の上郷公民館等用地処分



宮野地区コミタクの出發式

# 会派等活動報告

## 新世紀クラブ

幹男 二 祐児 清弘  
 兼村 小林 中 原 藤本  
 (代表) 利夫 東光 幹也 武田 野村 平田 山根  
 浅原 氏永 藏成 田中 野村 平田 山根  
 兼村 小林 中 原 藤本  
 利夫 東光 幹也 武田 野村 平田 山根  
 兼村 小林 中 原 藤本  
 利夫 東光 幹也 武田 野村 平田 山根

## 討論の概要

### 全議案に賛成

### 請願については反対

予算は、行財政改革や経営健全化の見通しを踏まえ、市民の声をしっかりと受け止めた予算であると受け止めています。これまでの議会での議論の内容を十分踏まえており、総合計画に基づく、新しい山口市の息吹を感じる予算として、本予算を心強く思っています。

編成にあたっては今回から施策別包括的予算制度を導入し、総合計画の施策体系にあわせた資源配分を実施することで施策優先度に応じた選択と集中によりメリハリのついた予算となっております。特に、「広域県央中核都市の実現」、「市民の生活満足感向上」、「ま

ちとしての価値創造」への取り組みは、渡辺市長の地域経済活性化への新たな展開と理解します。

### 財政健全化の推進

企業誘致や市税徴収率の向上による税収増、市有地の売却等財産の有効活用、指定管理者制度の導入、繰上償還による利子償還額の減少、人件費削減、公共経営に基づく民間化推進実行計画の取り組みを、本予算等においても示されており

ます。こうした財政健全化への取り組みに対する議会のチェック機能の努力はもちろんです。市長には、各施策の着実な実行と市民の皆



活性化が期待される中山間地域

様へのわかりやすく丁寧な説明をされるよう要請します。

### 阿東町との合併協議

申し入れに対する本市の回答は3月末までとなっており、行政からの課題提示と市民の皆様の見解把握、議会における調査・研究など、1年あまりの検討時間を要して、意見や議論が交わされ、本市としての課題の整理につきましては、熟度が高まったと感じております。

議会としても、「山口市議会県央部合併研究会」により、「阿東町との合併協議に関する調査・研究報告書」で、広域県央中核都市の形成における農業等の振興、中山間地域の振興、合併によるまちづくりの支援措置など、協議の視点と考える重要な課題及び各委員から提出された意見を取りまとめました。

こうしたことを踏まえ、私どもは、阿東町からの合併協議申し入れを真摯に受け止め、まずは両市町がともに課題を持ち寄り、議論を深めていく協議の場、た

とえば、連携協議会、あるいはまちづくり研究会や協議会といった場を設けることの方角で、本市としての判断を要請するものです。

### 山口市後期高齢者医療に関する条例

医療制度改革の一環として、本年4月から施行される後期高齢者医療制度につきましては、老人保険制度に代わる新たな制度であるため、不安を感じられる市民もおられます。スムーズな制度施行に向けて、なお一層、市民への丁寧な説明をされるとともに、運営にあたっては、山口県後期高齢者医療広域連合との連携も十分図りながら、高齢者の立場に立つたきめ細かな対応を要望します。

### 行政視察報告

#### 地産地消について視察

四国中央市と、今治市へ地産地消について9名で視察をしました。両市とも学校給食を中心に先進的な取り組みが行われていました。

今治市では、「食と農のまちづくり条例」を制定し

て地域全体での地産地消への取り組み事例が参考となりました。



今治市役所での説明

### 観光振興と中心市街地活性化基本計画について視察

石川県加賀市では、山温泉の観光振興施策で、温泉地らしい街づくりと、住民が優しく観光客を迎える

姿勢が参考となりました。富山市では「中心商店街活性化基本計画」を策定したの取り組みについて3名で視察をしました。



山中節の歌と踊りを鑑賞出来る山中座を併設する菊の湯(女湯)

### 県都クラブ

(代表) 青波 芳雄  
 伊藤 右田  
 欣知 敦士  
 原田 眞山  
 有田 昌治  
 杉山 山田

### 行政視察報告

高松市の「中心市街地活性化について」調査を行いました。山口市では、中心商店街(道場前など)を中心に75haを市街地活性化計画区域として中心市街地の活性化に取り組んでいます。

今回、そのモデルとなる高松市での成功例や苦労した部分、また市民との協働

(討論の全文、行政視察の詳しい報告については、議会のホームページに掲載しています。)

による商店街の活性化への道のりを調査するため、四国・高松を訪問しました。

高松市は香川県のほぼ中央に位置し、100万国民の約42%の人口を有する、また生駒氏の築城以来四国の玄関として、政治・経済の中心的役割を果たしてきた。近年は本州四国連絡道路開通以来、郊外地域に大規模店舗の進出や、他県への通過地域となるなどの影響から、歴史ある中心市街地の衰退が見え始めたこと

### 山口未来クラブ

重見 秀和 (代表)  
入江 幸江・新宅儀次郎  
瀧川 勉

山口未来クラブでは3月に行った会派による市政報告会についてご報告します。

このたびは会派としてはじめて旧市町単位5ヶ所での「山口市議会に何を望むのか」と題して会派報告会とワーキング会議を行いました。多くの皆様にご参加を

いただき誠にありがとうございました。改めて山口市議会に対する大きな期待を感じたところです。会派報告会ではまず4常任委員会の予算説明を行い、その後現在、山口市議会で研究されている山口市議会基本条例についての説明を行いました。その後各グループに分かれて、「山口市議会に何を期待するのか」と題してワーキングを行いました。主にテーマは市民の皆様

回のように議員さんからの発信は、市民にとってありがたい。「気軽に集まれる報告会を望む」「議会は情報発信が下手」「自分たちのまちは自分たちで作るという理念が好き」「議会のチェック機能の強化を望む」等でありました。今後も山口未来クラブは市民に開かれた山口市議会を目指して活動していく所存です。

### 市民クラブ

藤村 和男 (代表)  
須子藤吉朗

今議会は新しい総合計画で示された「広域県央中核都市の実現」「市民の生活満足感向上」「まちとしての価値創造」といった三点の重点的な取り組みの具現化にむけ部局横断的な施策包括予算制度によって重要な施策が提起されたと、会派として評価した

ところです。ただ、その実行が伴わないと画餅に過ぎません。成果を得ることができるとは、その執行・推進体制の如何にかかっています。体制強化の必要性等を本会議においても、指摘をいたしました。

### 日本共産党

須藤 果一 (代表)  
河合 喜代・菊地 隆次

山口市でも保険料を払えない人1079世帯に発行している資格証明書(病院窓口10割負担)

の事態をふまえ、人命尊重のセーフティネット確立に取り組んでいる大阪府堺市を視察しました。

堺市も国保財政は厳しい中で、どうしたら市民の生存権を守るか、そのシステム作りを全力をあげています。堺市は、「資格証明書により受診を控え、病気の重篤化を招くことのないように、個別にきめ細かな相談・対応を行う」ことを基本に、資格証明書を交付しているすべての世帯を対象に戸別訪問。病状の把握に努めています。山口市も「すべての国民は、健康で文化的な生活を営む権利を有する(憲法二十五条)の立場に立って、市民の「生存権」を守る市政となるよう、全力をあげるべきです。



視察先にて

### 公明党

佐田 誠二 (代表)  
原 ひろ子・村上 満典

### 過疎集落実態調査を実施

近年、共同体としての機能の維持が困難な「過疎集落」が急増しており、将来消滅する恐れのある集落は全国で2643。このうち423は10年以内に消滅する恐れがあるとされています。調査の中で、今後拡充してほしい過疎集落政策は、①新たな地域コミュニティ組織づくりの促進と支援 ②地域資源を活かす内発型の産業及び交流産業の育成支援 ③生活交通整備支援などが挙げられました。また、個人で今一番困っていることについては、①働く場所や仕事がない。②道路網に不便を感じる。③公共交通機関がない。④空き家が増えている、後継者がいない。⑤シカやイノシシなどの被害で困っている。

今回の貴重なご意見は政策などに反映するなど、地域再生・活性化の実現に全力で取り組んでまいります。

その中で注目すべきは、丸亀商店街の再開発事業であるが、これは商店街の再生とまちなか居住を同時に実現したものであるが、基本的に組合方式によるものであることから、市の直接的支援は行っていないところである。国交省や経済産業省の補助金を上手に活用し(国のメニューを探し)市は一部を負担している。市の負担メリットは中心部の定住人口の増加による市

### 山本会 (非会派)

山本 俊昭 (代表)

今定例会に提案された議案第1号から、議案第59号までのすべての議案に賛成しました。

委員会では執行部から水道事業の検針は1月、窓口・料金徴収業務は4月からの民間委託が始まるとの説明がありました。民間委託後も市民サービスの低下とならないよう期待します。

### 至誠クラブ (非会派)

伊藤 斉 (代表)

3月定例会で新年度予算をはじめとし、阿東町からの合併協議申し入れに関すること、中山

間地域振興や都市核づくり、行財政改革、環境行政、地域の活性化などについて、議論を交わしました。また、提案された議案第1号から議案第59号までのすべての賛成しました。



※詳細はHPに掲載中

街地の活性化だけでなく、大幅な税収アップに繋がることから、15年で回収できる見込みとなっている。その他、中小企業振興条例等も活用している。とにかく、地元住民と商店街店主の熱い思いがあつてこそその事業の実現であることがわかる。

# 議会Q&A

## 「意見書、決議」ってなに？

**意見書**は、地方公共団体の公益に関することについて、議会の意思を法的に表明するための文書で、国会や関係行政庁に提出します。

意見書の提出権については地方自治法第99条に規定されており、山口市議会では議員、委員会から議案を提出して本会議に諮り、可決すれば、議長名で関係機関に意見書を提出します。

3月定例会では経済建設委員会から「畜産・酪農対策に関する意見書」を提案し、本会議で可決しました。この意見書は、内閣総理大臣を始め、農林水産大臣、財務大臣、両議院議長宛に提出しました。

**決議**は、議会の意思を対外的に表明することを行い、政治的効果を期待して議会の意思を内外に明らかにすることです。

山口市議会では、平成18年12月定例会において、核兵器廃絶と恒久平和の実現に向けて速やかにアピールを行う必要があると考え、「非核平和都市宣言」を決議しています。

### 教育委員会の委員の任命について

戸田 宣明 (新任)

平川 和子 (新任)  
古谷 愛子 (新任)  
久保田 文子 (新任)  
井上 玲子 (新任)  
小嶋 慎一郎 (再任)  
重田 孝子 (再任)  
伊藤 ルリ子 (再任)  
松永 輝雄 (再任)

### 人権擁護委員の候補者の推薦について

### 編集後記

「睦まじく五重の庭に八重桜」という語呂合わせを平成20年度の予算658億3千万円にかけ、ある議員が一般質問で紹介しました。財政健全化の道半ばですが、一日も早く豊かに咲く市政運営ができるよう議会も役割を全うして努力します。

議会活動の報告も紙面でも順次行いますので今後もお覧いただき、ご意見を寄せ下さい。

委員 長 野 村 芳 雄  
副委員 長 田 村 幹 男  
委員 氏 右 田 芳 雄  
委員 小 林 永 光  
委員 田 中 訓 二  
委員 原 田 清 勇  
委員 有 田 清 勇  
委員 入 江 幸 江  
委員 新 宅 儀 次  
委員 菊 地 隆 次  
委員 村 上 満 典

### 編集委員

## 市議会からのお知らせ

### ～阿東町からの合併協議の申し入れに対し、回答しました～

平成19年1月22日に、阿東町長及び阿東町議会議長から、山口市長及び山口市議会議長に対し、合併協議の申し入れがあったところです。

この申し入れを受け、山口市議会では山口市議会県央部合併研究会を設置し、山口県市町合併推進構想や合併特例法に係る支援措置、また本市が策定した山口市総合計画に掲げる広域県央中核都市づくり等について研究を深め、本市の将来のまちづくりとの関連において、委員間で多くの議論を交わしました。

調査・研究を通じ、市議会における協議の視点と考える重要な課題として、広域県央中核都市の形成における農業等の振興、中山間地域の振興、合併によるまちづくりに当たった支援措置の3項目を整理し、各委員の意見と合わせ、2月8日に議長へ報告しました。この報告書は全議員に配付し、研究会での課題認識を共有するとともに、市議会ホームページに掲載したところです。

また、3月に開催された定例会において、多くの議員が両市町の将来のまちづくりにおける課題について質問に立ち、議論を深めました。

このような研究会での議論や調査・研究を通じて整理された課題、また定例会等での議論を踏まえ、議会内の意見をまとめ、阿東町からの合併協議申し入れについて、山口市議会としてこれをお受けするとの結論を出したところであり、3月28日に阿東町長及び阿東町議会議長へ回答しました。

今後は、山口市議会といたしましても、協議の方法や、両市町の将来のまちづくりにおける課題について、協議に臨んでまいります。



3月28日阿東町庁舎にて

### 平成20年6月定例会日程(予定)のお知らせ

月日	曜	日 程	備 考
6月9日	月	本会議(初日)	午前10時 市議会議場
16日	月		
17日	火	本会議(一般質問・質疑)	午前10時 市議会議場
18日	水		
20日	金	教育民生委員会 環境上下水道委員会	午前10時 第1委員会室 午前10時 第2委員会室
23日	月	総務委員会 経済建設委員会	午前10時 第1委員会室 午前10時 第2委員会室
26日	木	本会議(最終日)	午前10時 市議会議場

※日程や時間は変更することがあります。事前に市議会事務局またはホームページにてご確認ください。